

2026 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 I D O M
代表者名 代表取締役社長 羽鳥 由宇介
(コード:7599 東証プライム)
問合せ先 取 締 役 C F O 西 端 亮
(TEL 050-1749-8962)

剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 14 日開催の取締役会において、下記のとおり、2026 年 8 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うとともに 2027 年 2 月期の期末配当予想を修正することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金(中間配当)及び期末配当予想の修正

(1)剰余金の配当(中間配当)の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2026 年 4 月 13 日公表)	前期実績 (2026 年 2 月期)
基 準 日	2026 年 8 月 31 日	2026 年 8 月 31 日	2025 年 8 月 31 日
1株当たり配当金	15 円 54 銭	21 円 06 銭	15 円 43 銭
配当金総額	1,560 百万円	—	1,549 百万円
効力発生日	2026 年 11 月 13 日	—	2025 年 11 月 13 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注)配当金総額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(2)期末配当予想の修正の内容

	1 株あたり配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想	21 円 06 銭	21 円 37 銭	42 円 43 銭
今回予想		15 円 84 銭	31 円 38 銭
当期実績	15 円 54 銭		
前期実績(2026 年 2 月期)	15 円 43 銭	20 円 17 銭	35 円 60 銭

2. 修正の理由および今後の配当方針の見直しについて

(1)配当予想修正の理由

当社の配当政策は、連結業績に連動して配当金を決定する「業績連動型配当(連結配当性向 30%を目安)」を基本方針としております。

この基本方針に基づき、本日(2026 年 10 月 14 日)公表の「第 2 四半期(中間期) 業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」記載の業績予想の修正を踏まえ、上記のとおり中間配当額を決定するとともに期末配当予想を修正いたします。

(2) 今後の配当方針の見直しについて

当社は従来、上記の通り連結業績に連動した利益配分を行ってまいりました。しかしながら、事業環境の変化への適応や資本効率(ROIC)の向上、ならびに株主の皆様に対する株主還元の安定性・予見可能性をより一層高める観点から、従来の完全業績連動型の配当方針について、見直しを進めております。

なお、見直し後の新たな配当方針の詳細につきましては、次期中期経営計画とあわせ、2027年4月(2027年2月期 決算発表時)に公表する予定です。

3. 株主優待制度の運用見直しについて

(1) 優待制度見直しの理由および方針

当社は2026年1月23日に株主優待制度を導入して以降、多くの株主様にご参入いただき、株主基盤拡充の目的を果たしてまいりました。一方で、株主数の急速な増加に伴い、デジタルギフト等に係る各種運用・管理コストが拡大しております。

当社といたしましては、持続的な成長投資と資本効率の最適化、ならびにすべての株主様に対する公平かつ効率的な利益還元の観点から、現在提供しております汎用デジタルギフトによる還元手法のあり方を再検証し、当社グループの事業活動との親和性や株主様による当社サービスのご利用・体験機会の創出、ならびに制度としての持続可能性を総合的に考慮した新たな優待軸の構築に向け、具体的な検討を進めております。

(2) 現行優待制度の継続期間(2027年8月末日まで)

2026年1月23日の公表時にお知らせいたしました継続保有要件(1年以上)等を考慮し、2027年8月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様(同一株主番号で3回以上連続記録)への進呈(2027年11月予定)をもちまして、現行のデジタルギフトによる株主優待制度の運用を終了いたします。

(3) 見直し後の優待制度の公表時期

見直し後の具体的な株主優待制度の内容につきましては、上記配当方針の見直しとあわせ、2027年4月(2027年2月期 決算発表時)にお知らせいたします。

以上